

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日

上場会社名 パシフィックシステム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3847 URL <http://www.pacific-systems.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 泰博  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 土谷 稔 (TEL) 048-845-2200  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	6,674	△12.7	190	△53.6	197	△52.5	73	△74.3
2022年3月期第3四半期	7,640	20.1	409	55.4	416	49.7	285	268.7

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 76百万円(△74.0%) 2022年3月期第3四半期 295百万円(175.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	49.50	—
2022年3月期第3四半期	192.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	8,092	5,448	67.3
2022年3月期	8,710	5,568	63.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 5,448百万円 2022年3月期 5,568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	62.50	—	67.50	130.00
2023年3月期	—	65.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	65.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,608	△9.7	456	△40.3	465	△39.7	260	△50.1	175.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	1,480,000株	2022年3月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	386株	2022年3月期	365株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	1,479,635株	2022年3月期3Q	1,479,635株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年12月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも行動制限の緩和等により、景気は緩やかに持ち直しの動きが見られました。一方でウクライナ情勢の長期化による原材料・資源価格の上昇や急激な円安による物価高騰など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、そのような環境の中でも、AIやIoTなどのデジタル技術を利用したデジタルトランスフォーメーション（DX）への取り組みが企業を中心に増加する一方で、資源価格の上昇などによる情報化投資の抑制・延期によるプロジェクトの延伸など影響が出始めております。

このような状況のもと、当社グループは23中期経営計画（2021年度～2023年度）に基づき、主要事業の推進に取り組みましたが、一部顧客の情報化投資の抑制・延期の影響を受け、その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、システム運用・管理等のセグメントで増加しましたが、機器等販売、ソフトウェア開発、システム販売のセグメントで減少となり、6,674百万円（前年同期比12.7%減）となりました。損益につきましては売上高の減少及び不採算案件等により、営業利益190百万円（同53.6%減）、経常利益197百万円（同52.5%減）、特別損失（訴訟関連損失）の計上も加わり親会社株主に帰属する四半期純利益73百万円（同74.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

#### ①機器等販売

売上高は前期のGIGAスクール構想案件による特需の反動や、顧客の設備投資の抑制・延期の影響などにより減少し、1,151百万円（前年同期比36.2%減）となりました。セグメント利益は売上高の減少により、74百万円の利益（同58.9%減）となりました。

#### ②ソフトウェア開発

売上高は前年度から継続中のシステム再構築が終盤に入り規模縮小となったことや、顧客の設備投資の抑制・延期の影響などにより減少し、997百万円（前年同期比23.5%減）となりました。セグメント利益は売上高の減少及び不採算案件等により、55百万円の利益（同58.3%減）となりました。

#### ③システム販売

売上高はセンシング事業において顧客の設備投資の回復があり、また子会社において医療システムは堅調に推移しましたが、農業生産管理システム、生コン協組システム等において前期より減少し、1,870百万円（前年同期比7.1%減）となりました。セグメント利益は不採算案件等により、109百万円の利益（同28.0%減）となりました。

#### ④システム運用・管理等

売上高はシステム運用支援への要員の増加、データセンタ業務の増加などにより、2,654百万円（前年同期比5.4%増）となりました。セグメント利益は売上高の増加により、832百万円の利益（同1.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて9.3%減少し、5,121百万円となりました。これは、主に仕掛品が184百万円増加したものの、現金及び預金が449百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が366百万円減少したことによりります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.0%減少し、2,971百万円となりました。これは、主に有形固定資産その他に含まれている賃貸資産が31百万円増加したものの、有形固定資産その他に含まれるリース資産が42百万円減少、無形固定資産に含まれるリース資産が40百万円減少、ソフトウェア仮勘定が36百万円減少したことによりります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて7.1%減少し、8,092百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて15.9%減少し、2,167百万円となりました。これは、主に短期借入金が250百万円増加したものの、買掛金が141百万円、その他に含まれる未払消費税等が246百万円減少、未払法人税等が188百万円減少、賞与引当金が269百万円減少したことによりります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて15.6%減少し、476百万円となりました。これは、主に固定負債その他に含まれているリース債務が60百万円減少したことによりります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて15.9%減少し、2,643百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.1%減少し、5,448百万円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益を73百万円計上したものの、株主配当金の支払が196百万円あったことによりります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月19日に公表いたしましたとおり、通期連結業績予想を次のとおり修正しております。

2023年3月期通期連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想値 (A)	10,193	736	741	509	344.55
今回修正予想値 (B)	9,608	456	465	260	175.96
増減額 (B-A)	△584	△279	△276	△249	-
増減率 (%)	△5.7	△38.0	△37.3	△48.9	-
(ご参考) 前期連結実績 (2022年3月期)	10,643	763	771	521	352.35

2023年3月期第3四半期にて特別損失(訴訟関連損失)を計上したことに加え、第2四半期までに発生していた不採算案件について改善に向けて進めていたもの更に納期が遅れる見通しとなったこと、資源高を背景とした顧客の大型設備投資が延期となったことにより、収益改善が厳しい状況となりました。

これらの要因から、2023年3月期の連結業績予想において前回(2022年5月13日)公表した予想から下回ることとなりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,203,691	1,754,387
受取手形、売掛金及び契約資産	2,403,447	2,036,885
電子記録債権	143,070	77,425
リース投資資産	438,955	447,251
商品及び製品	56,349	53,880
仕掛品	246,580	430,862
原材料及び貯蔵品	40,810	52,443
その他	116,645	270,374
貸倒引当金	△2,086	△1,847
流動資産合計	5,647,463	5,121,664
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	688,511	682,234
土地	531,977	531,977
その他（純額）	779,052	774,185
有形固定資産合計	1,999,541	1,988,397
無形固定資産	430,801	355,319
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	179,105	192,362
その他	458,141	439,283
貸倒引当金	△4,286	△4,342
投資その他の資産合計	632,960	627,302
固定資産合計	3,063,304	2,971,019
資産合計	8,710,768	8,092,683
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	779,383	637,802
短期借入金	-	250,000
未払費用	258,110	285,357
未払法人税等	197,223	8,421
賞与引当金	467,938	198,357
受注損失引当金	42,781	80,010
アフターコスト引当金	44,785	38,791
その他	788,067	668,622
流動負債合計	2,578,290	2,167,362
固定負債		
その他	564,121	476,397
固定負債合計	564,121	476,397
負債合計	3,142,411	2,643,760

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	777,875	777,875
資本剰余金	239,946	239,946
利益剰余金	4,499,097	4,376,281
自己株式	△737	△802
株主資本合計	5,516,181	5,393,301
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,460	105,555
退職給付に係る調整累計額	△61,286	△49,933
その他の包括利益累計額合計	52,174	55,622
純資産合計	5,568,356	5,448,923
負債純資産合計	8,710,768	8,092,683

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	7,640,850	6,674,218
売上原価	5,862,580	5,072,368
売上総利益	1,778,270	1,601,850
販売費及び一般管理費	1,368,776	1,411,823
営業利益	409,493	190,026
営業外収益		
受取利息	17	18
受取配当金	4,995	4,901
受取手数料	1,371	1,359
受取保険料	602	650
補助金収入	2,042	4,083
その他	1,312	1,523
営業外収益合計	10,341	12,538
営業外費用		
支払利息	3,117	2,957
支払手数料	602	603
その他	101	1,230
営業外費用合計	3,822	4,791
経常利益	416,012	197,773
特別損失		
固定資産除却損	1,180	33
訴訟関連損失	-	79,400
特別損失合計	1,180	79,433
税金等調整前四半期純利益	414,832	118,339
法人税等合計	129,549	45,103
四半期純利益	285,283	73,235
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	285,283	73,235

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	285,283	73,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,241	△7,904
退職給付に係る調整額	8,884	11,353
その他の包括利益合計	10,125	3,448
四半期包括利益	295,409	76,684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295,409	76,684
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア開発	システム販売	システム運用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,805,731	1,303,435	2,012,944	2,518,738	7,640,850	—	7,640,850
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,200	14,910	5,217	5,536	30,863	△30,863	—
計	1,810,931	1,318,345	2,018,162	2,524,275	7,671,714	△30,863	7,640,850
セグメント利益	181,350	134,103	151,340	824,011	1,290,806	△881,312	409,493

(注) 1 セグメント利益の調整額△881,312千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア開発	システム販売	システム運用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,151,536	997,497	1,870,596	2,654,588	6,674,218	—	6,674,218
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,776	22,904	4,852	9,862	43,396	△43,396	—
計	1,157,312	1,020,402	1,875,449	2,664,451	6,717,615	△43,396	6,674,218
セグメント利益	74,486	55,971	109,000	832,013	1,071,472	△881,445	190,026

(注) 1 セグメント利益の調整額△881,445千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。